

NaS(ナトリウム・硫黄)電池

NaS電池は、電気料金が安価な夜間に充電し、この電力を昼間に利用することで電気料金を削減しています。また、充電した電力は、電力ひっ迫時のピーク電力の抑制にも活用しています。



▲砂町水再生センターのNaS電池

下水道技術研究開発センター

下水道技術研究開発センターは、新技術を実規模の施設へ導入する前段階に研究・開発することができる施設として、下水道局が設置しています。

砂町水再生センターで処理している本物の下水や汚泥を用いた実験や検証を行えるのが特徴です。民間企業や大学などとの共同研究等に利用しています。



案内図

●所在地 〒136-0075 東京都江東区新砂3-9-1 ☎03-5632-2180
●交通 東京メトロ東西線「南砂町」駅東口から徒歩15分

砂町水再生センターの環境整備

おひさま広場

正門を入った左側の「おひさま広場」には、せせらぎ等、ビオトープがあります。また、「新砂大滝」の前には処理水を循環利用した池があり、コイなどが泳いでいます。



銀杏道 (いちようみち)

広大なセンターの敷地（東京ドーム約20個分）内には約200種類、約80,000本の草木があり、その中には30年～50年に一度だけ花を咲かせるアオノリュウゼツランや丸の内旧都庁舎から移植した銀杏などがあります。



東京都 虹の下水道館
Tokyo Sewerage Museum "Rainbow"

下水道の役割や水環境の大切さを、楽しみながら学べる体験型施設です。

- 開館時間/9:30～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館無料
- 休館日/月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日休館)、年末年始 ※夏休み期間は無休
- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
- ☎ 03-5564-2458
- ホームページ <https://www.nijinogesuidoukan.jp/>

下水道局との関係をお互に悪質業者にご注意を!
下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

● **東京アメッシュ**
都内とその周辺地域で降っている雨をレーダーと地上雨量計で観測し、リアルタイムに表示するシステムです。

● **下水道アドベンチャー**
下水道についてのクイズに正解して、下水道マスターを目指そう。

● **下水道局ホームページ**
<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

水再生センターの見学
水再生センターの水処理施設を見学することができます。対象の水再生センターや申込方法等については右記のページをご参照ください。皆さまの見学をお待ちしております。



地域で育む水環境 砂町水再生センター



砂町水再生センターは、昭和5年に稼働した東京で2番目に古い水再生センターです。砂町処理区は、隅田川と荒川に囲まれた通称江東デルタ地帯で、墨田区と江東区の全部、中央・港・品川・大田・足立・江戸川区の一部からなる広大な区域(6,153ha)から発生する下水を有明水再生センターとともに処理しています。

処理した水は東京湾に放流しています。また、その一部を砂ろ過してセンター内の機械の洗浄・冷却やトイレ用水などに使用しています。

発生した汚泥は、センター内の東部スラッジプラントで炭化・焼却処理しています。



(令和8年4月現在)

- 運転開始 昭和5年2月
- 敷地面積 827,033㎡
- 処理能力 658,000㎥/日
- 水処理施設
 - 沈砂池 54池
 - 第一沈殿池 21池
 - 反応槽 24槽
 - 第二沈殿池 20池
 - 高速ろ過池 1池

- 汚泥処理施設
 - 濃縮槽 7(3)槽
 - 貯留槽 7(4)槽
 - 濃縮機 12(12)台
 - 脱水機 10(10)台
 - 焼却炉 3(3)基
 - 炭化炉 2(2)基
 ()は東部スラッジプラント分の再掲
- 雨天時貯留池 85,600㎥
- 雨水貯留池
 - ポンプ棟 33,000㎥
 - 旧木場系 61,000㎥

● **流入・放流水質**
水再生センターからの放流水は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」の水質基準を十分に満たし、魚がすめる水質です。

項目	流入水	放流水	条例による放流水の水質基準
BOD	110	4	—
COD	73	10	35以下
全窒素	30.1	10.1	30以下
全りん	3.1	1.1	3以下

令和6年度 24時間試験平均値

※ BOD、CODは、数値が高いほど水が汚れていることを示します。BODは、微生物が有機物を分解するのに使う酸素量、CODは酸化剤で有機物を分解して消費する酸素量で測ります。放流水の水質基準は、河川はBOD、海域はCODにより定められています。全窒素、全りんは、赤潮の発生などと深くかかわっています。

